

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	宮城 エステバン	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
専門演習Ⅰ・Ⅱで学習したことをベースにして卒業論文の準備・執筆に取り組みます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に着ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学期を通じた学習の概略と目的を理解する。注意事項。自己紹介。	☐
第2回	ITに関する研究（１）	各自のテーマを設定する。	☐
第3回	ITに関する研究（２）	文献収集と論点を整理する。	☐
第4回	ITに関する研究（３）	文献収集と論点を整理する。	☐
第5回	ディスカッション	中間報告し、各自のテーマを設定する。	☐
第6回	ITに関する研究（４）	文献収集と論点を整理する。	☐
第7回	ITに関する研究（５）	文献収集と論点を整理する。	☐
第8回	ITに関する研究（６）	文献収集と論点を整理する。	☐
第9回	ディスカッション	中間報告	☐
第10回	レポート作成（１）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	☐
第11回	レポート作成（２）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	☐
第12回	レポート作成（３）	テーマ設定し、レポートをまとめる。	☐
第13回	プレゼンテーション（１）	各自レポート報告し、全員で内容を検討する。	☐
第14回	プレゼンテーション（２）	各自レポート報告し、全員で内容を検討する。	☐
第15回	全体総括	本演習の内容を総括する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前に講義で学習するテーマおよび内容を確認しておく。事後は、配布資料や講義で学んだ内容を振り返り復習をしておく（毎週４時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
それぞれの講義内容において、各担当教員が理解を図りながら講義を進め、理解が困難な場合は、学生個々に個別指導をする

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	基礎学力を基盤とした専門知識と自らの経験を基に創造的に考え、問題を的確に判断することができる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

--

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		60%	40%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 平常評価とは出席点ではありません。授業課題の内容を評価します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		